

令和8年9月30日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）戦略分野を担う人材の育成について

教育委員会が中心となって、関係部局や産業界と連携し、将来不足が見込まれる人材ニーズを把握した上で、学科やカリキュラムの見直し、企業と連携した教育などに取り組み、産業界でニーズが高まる分野の人材を高校段階からしっかりと育成する必要があると考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップや理系人材の不足が生じる可能性が指摘されており、高校教育において、AIなどのデジタル技術を活用して、ものづくり等の地域産業の持続的な成長を牽引する専門人材や、地域の持続的な発展を支える人材など多様な人材を育成するための教育環境を整備する必要があると認識しております。

このため、本年5月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画」において、

- ・ 理数教育を先導する拠点として、新たな価値を創造していく科学技術人材の育成を目指す学科や、
- ・ ロボットやAIの技術など産業の最前線で通用する実践的な知識・技術を身に付ける学科

などを設置し、産業界や大学等と連携したカリキュラムの開発や共同研究を行うなど、産業界のニーズを踏まえ、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を育成することとしており、国の事業における改革先導拠点として採択されたことを最大限生かし、県内に普及してまいりたいと考えております。

また、国の「高校教育に関する基本方針（グランドデザイン）」に基づき、地域別就業構造の推計等を見据えて、先の「実施計画」による学科改編等を含めた「高等学校教育改革実行計画」を今年度中に策定することとしており、産業界と連携・協働した高校教育改革を推進することとしております。

教育委員会といたしましては、生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望を大切にし、生徒の可能性を最大限広げることを基本としながら、地域や産業界等における人材需要や技術動向などを踏まえ、関係部局や産業界と連携し

た高校教育の充実を図り、地域や広島産業の持続的な発展を担う人材の育成に取り組んでまいります。